

別表 4 規程 20 条第 1 項

樹種区分表

番号	樹種	包括樹種
1	秋田杉	(秋田県)
2	スギ	(山形県、青森県、岩手県、宮城県のスギ)
3	天然秋田杉	(秋田県、青森県内天然スギ)
4	天然スギ	山形県、岩手県、宮城県内の天然スギ
5	ヒノキ	
6	サワラ	
7	アカマツ	
8	クロマツ	
9	ヒメコマツ	ゴヨウマツ
10	ヒバ (ヒノキアスナロ)	
11	カラマツ	
12	モミ	
13	アオモリトドマツ	
14	トドマツ	
15	シラベ	
16	コメツガ	ツガ
17	トウヒ	ドイツトウヒ
18	ネズコ	
19	イチイ	
20	カヤ	
21	その他針葉樹	
22	ブナ	イヌブナ除くブナノキ属全部
23	イヌブナ	
24	クリ	クリ属全部
25	ミズナラ	
26	コナラ	ミズナラを除くコナラ属全部
27	ドロノキ	ヤナギ科全部、ポプラ、ヤマナラシ
28	オニグルミ	ヒメグルミ
29	サワグルミ	
30	シラカンバ	ダケカンバ、ウダイカンバ、オノオレカンバ、マカンバ、ミズメを除くカバノキ属全部
31	ダケカンバ	
32	ウダイカンバ	マカンバ
33	オノオレカンバ	
34	ミズメ	アズサ、ヨグソミネバリ
35	アサダ	
36	ニレ	ニレ属全部
37	ケヤキ	ケヤキ類全部
38	クワ	
39	カツラ	カツラ属全部
40	ホオノキ	
41	サクラ	シウリザクラを除くサクラ属全部

42	シウリザクラ	
43	キハダ	
44	ウルシ	
45	イタヤカエデ	
46	カエデ	イタヤカエデを除くカエデ属全部
47	トチノキ	
48	シナノキ	シナノキ属全部
49	センノキ	
50	アオダモ	
51	ヤチダモ	
52	キリ	
53	イヌエンジュ	
54	エノキ	
55	トネリコ	
56	その他広葉樹	
57	タケ	孟宗竹、マダケ

別表5 規程20条第6項

慣行薪炭材の樹種区分

番号	樹種	包括樹種
1	コナラ	ミズナラを除くコナラ属全部
2	ミズナラ	
3	雑木	ナラ以外の広葉樹全部

各区域(A~C)の植生状況 ※平成28年度調査時
【各区域のプロットを合計して計上】

(A区域)

	調査年月日	樹種	平均(m)	本数(本)
1	H28.9.27	イタヤカエデ	0.40	1
2	"	サクラ	0.72	8
3	"	ホオノキ	0.71	8
		計		17

(B区域)

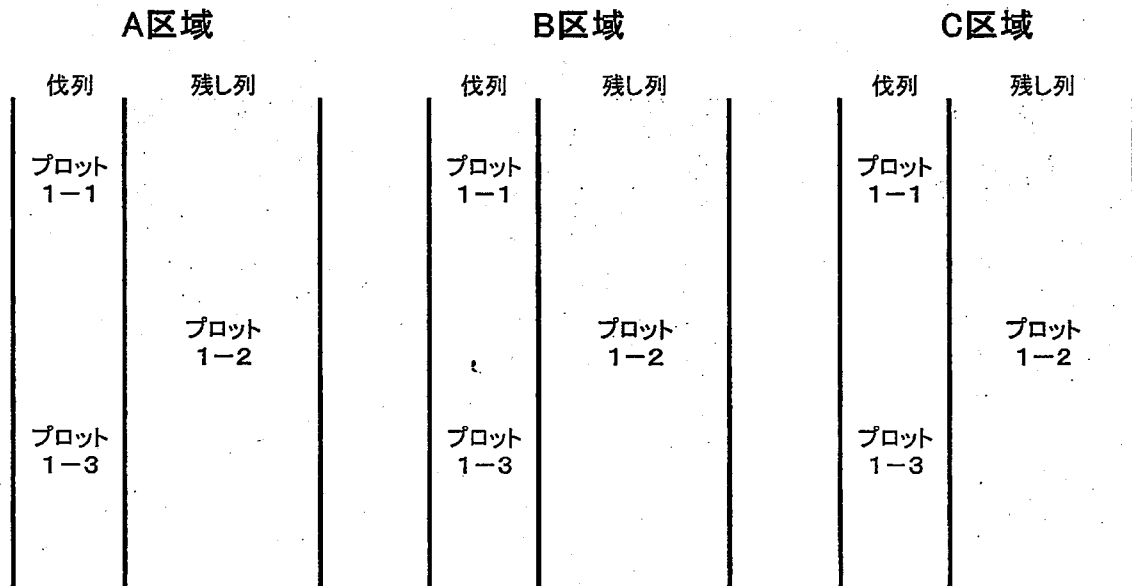
	調査年月日	樹種	平均(m)	本数(本)
1	H28.11.1	イタヤカエデ	0.20	1
2	"	クワノキ	0.21	3
3	"	サクラ	1.48	1
4	"	ホオノキ	0.45	7
		計		12

(C区域)

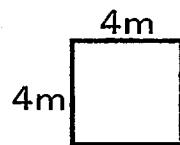
	調査年月日	樹種	平均(m)	本数(本)
1	H28.9.28~H28.10.28	イタヤカエデ	0.14	2
2	"	サクラ	0.25	2
3	"	エノキ	0.10	1
4	"	カツラ	0.18	5
5	"	シウリザクラ	0.10	6
6	"	スギ	15.00	2
7	"	ハンノキ	0.18	1
8	"	ブナ	0.72	3
9	"	ホオノキ	0.44	5
10	"	ミズナラ	0.34	1
		計		28

(付属資料)

各プロットの配置状況



※各プロットの大きさ



【野帳】 A区域の各プロットの調査状況

(A区域伐列)

プロット 1-1

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)		
1	H28.9.27	サクラ	1.00								
2	"	サクラ	0.88								
3	"	サクラ	0.58								
4	"	サクラ	0.40								
5	"	サクラ	0.58								
6	"	サクラ	1.10								
7	"	サクラ	0.60								
8	"	サクラ	0.58								

(A区域残し列)

プロット 1-2

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)		
1	H28.9.27	ホオノキ	0.66								
2	"	ホオノキ	1.10								
3	"	イタヤカデ	0.40								
4	"	ホオノキ	0.94								
5	"	ホオノキ	0.74								
6	"	ホオノキ	0.70								
7	"	ホオノキ	0.24								
8	"	ホオノキ	0.24								

(A区域伐列)

プロット 1-3

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)		
1	H28.9.27	ホオノキ	1.06								

【野帳】 B区域の各プロットの調査状況

(B区域伐列)

プロット 1-1

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
1	H28.11.1	クワノキ			0.30						
2	"	クワノキ			0.10						
3	"	イタヤカエデ			0.20						
4	"	クワノキ			0.22						

(B区域残し列)

プロット 1-2

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
1	H28.11.1	サクラ			1.48						
2	"	ホオノキ			0.70						
3	"	ホオノキ			0.40						
4	"	ホオノキ			0.16						
5	"	ホオノキ			0.90						
6	"	ホオノキ			0.40						
7	"	ホオノキ			0.30						
8	"	ホオノキ			0.30						

(B区域伐列)

プロット 1-3

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	平成28年度			平成29年度			平成30年度		
			調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
該当なし											

【野帳】 C区域の各プロットの調査状況

(C区域伐列)

プロット 1-1

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
1	H28.9.28	ホオノキ	0.08						
2	"	ブナ	0.08						
3	"	カツラ	0.14						
4	"	カツラ	0.26						
5	"	カツラ	0.18						
6	"	サクラ	0.38						

(C区域残し列)

プロット 1-2

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
1	H28.10.28	ミズナラ	0.34						
2	"	ホオノキ	0.60						
3	"	ホオノキ	0.36						
4	"	ブナ	2.00						
5	"	ホオノキ	0.56						
6	"	ホオノキ	0.60						
7	"	ブナ	0.08						
8	"	ハンノキ	0.18						
9	"	スギ	9.00						
10	"	スギ	21.00						

(C区域伐列)

プロット 1-3

平成28年度

平成29年度

平成30年度

NO	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)	調査年月日	樹種	樹高(m)
1	H28.10.28	シウリザクラ	0.14						
2	"	シウリザクラ	0.14						
3	"	イタヤカエデ	0.16						
4	"	エノキ	0.10						
5	"	イタヤカエデ	0.12						
6	"	カツラ	0.12						
7	"	シウリザクラ	0.10						
8	"	シウリザクラ	0.08						
9	"	シウリザクラ	0.06						
10	"	サクラ	0.12						
11	"	シウリザクラ	0.06						
12	"	カツラ	0.18						



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成29年10月16日

No.136

自然再生活動を実施しました

9月16日（土）、当センターの自然再生活動を通称白神ライン（青森県道28号岩崎西目屋弘前線）に隣接する西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施しました。この活動は白神山世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、自然再生活動として広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、活動終了後は、周辺のブナ林の散策を行っています。今回は大雨のため活動は取りやめとなって、今回、再度公募したわけですが、やはり自然再生活動に関わりたいとの思いから前回参加の方が多く申込みされたところです。

活動箇所は伐採の際に発生した切株や枝条が多くありましたが、参加者は隣接する広葉樹林から採取したミズナラやブナの稚樹をうまくスコップで穴を掘って植え込んでいました。

息の長い森づくりとなる自然再生の作業は、歩行に注意すれば職員とともに気楽に実施できる内容となっていますので、何度でも参加いただければと思います。

また、周辺のブナ林散策は、津軽峠周辺に点在するブナ巨木を巡る遊歩道「ぶな巨木ふれあいの径」と「マザーツリー」において実施し、少し色づいた広葉樹とブナ巨木にふれあいながら、白神山天然林の魅力を感じとっていたことと思います。

この活動は多くの方の参加を得ながら地道に行っていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。（吉川）



伐採箇所に植え付けます



採取した稚樹を植え付けました



津軽峠からマザーツリーへ出発



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成 29 年 8 月 16 日

No.134

第 1 回自然再生活動は雨のため次回に持ち越しとなりました

7月22日(土)、当センターの自然再生活動を西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施予定でしたが、当日の朝は雷雨となったため、当初予定していた自然再生活動は取りやめ、森林散策やダム見学を行いました。自然再生活動は白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、再度9月16日に予定していますので、活動は次回に持ち越しとなります。

この日は最初に、西目屋村にある白神山地ビジターセンターを訪れ、展示ホールを見学して白神山地の生態系を学習しました。その後、水の日関連行事の一環として、今年オープンした津軽ダムパークを見学し、洪水対策やかんがい用水など下流域へ対する津軽ダムの機能を学ぶとともに、国有林の水源かん養機能など上流域の保全に関しては当センターから説明を行ったところです。

午後から天候が回復したので、弘前大学白神自然観察園の見学をさせていただきました。立派なスギやカラマツ、ミズナラやブナ等の二次林といった様々な林相の散策となりました。また、観察園の内外には不識塔や広泰寺という地域の歴史も垣間見れる場所もあり、西目屋村開拓の勉強にもなったようです。



弘前大学白神自然観察園内にて

今回は悪天候のため、メニュー変更の内容となりましたが、今後も地道に自然再生活動を続けていきます。皆様のご参加をお待ちしています。(吉川)

※第 2 回森林教室の開催場所の変更について

当初、釣瓶落峠を予定しておりましたが、釣瓶落峠へ通じる県道317号線が、全面通行止めのため、「津軽峠」と鱒ヶ沢町にある「奥赤石ブナ林木遺伝資源保存林」に変更となりました。詳細につきましては次号の「白神の絆」でお知らせします。なお、募集開始は9月14日(木)を予定しております。